広報 つなぎ

1月 No.252

昭和62年

発行／津奈木町 編集／企画課 印刷／水俣旭印刷所

人口と世帯（12月1日現在）人口6,166（＋11）・男2,926（＋6）・女3,240（＋5）・世帯1,719（＋3）（　）内は前月との比較

美しい津奈木の海岸線（三ッ島上空より撮影）

羽ばたけ みんなの仲間

部落	出生児	保護者	続柄	生年月日
新川	上田あすか	幸司	長女	S60.12.10
浜崎	渕上 星矢	澄男	三男	12.12
古中尾	山崎 政治	繁	長男	12.26
浜崎	東 浩介	昌和	二男	12.26
日添	吉野 美緒	隆徳	長女	61. 1.15
日当	開田 元樹	英司	二男	1.22
中尾	山口 和久	春一	二男	1.25
日当	伊藤 祥市	博信	二男	1.30
染竹	坂本真奈美	郁博	長女	2. 9
平国下	濵田 隆太	隆満	長男	2.10
竹中	鶴野 文崇	壽彦	二男	2.11
小津奈木	白坂 旭	雅文	長男	2.14
大泊	椎葉 優	哲義	二男	2.16
竹中	山崎 健博	孝義	長男	2.24
竹内	山川 雄大	和文	長男	2.24
日浜	吉野 智幸	和久	二男	3. 5
浜崎	宮本 雅大	清也	三男	3. 7
竹下	藤本実	武義	長男	3.22
平国下	野崎 洋一	孝介	二男	3.29
桜戸	新立 晃子	啓	長女	4.11

部落	出生児	保護者	続柄	生年月日
竹中	竹永あかね	正	三女	S61. 4.14
倉谷	林 省吾	賢二	三男	4.17
大泊	祝迫 慧	典政	長男	4.22
古中尾	原野 省吾	保文	二男	4.26
中尾	村田 愛	鐵男	長女	4.27
日当	田鳩 章浩	伸浩	長男	4.28
平国下	山口 尚太	伸也	二男	5. 7
古川	川崎 歩	一弘	長女	5.10
平国下	實光 奈葉	久博	長女	5.15
川内	井川 央崇	清治	長男	5.17
浜崎	磯見 千佳	勲	三女	5.22
中尾	農添 達也	三之	長男	5.31
桜戸	山下祐太郎	健史郎	長男	6.24
大泊	新立 真也	一喜	四女	6.26
福浦	福田 康秀	清隆	二男	6.28
日添	佐々木夏紀	良治	長女	7.28
日当	開田 健史	美秀	長男	7.30
日添	林田 伊代	榮喜	長女	7.30
古中尾	山本 千夏	和美	二女	8.13
〃	園木 智美	義雄	長女	8.19

部落	出生児	保護者	続柄	生年月日
上下門	福田 祥子	豊	長女	S61. 8.27
日添	吉野 充浩	公敏	長男	8.31
上下門	津々木 護	信	二男	9.16
〃	田口 浩子	伸二	長女	9.20
中尾	農口史比古	昌也	二男	9.25
小津奈木	篠原 恵美	伸一	長女	9.27
大泊	柳迫 翔太	好成	二男	10. 2
上下門	野田 祐子	賢次	長女	10. 3
浜崎	大森 健広	康夫	一男	10.11
中尾	馬乗園友介	健一	長男	10.15
平国上	平野 雄太	秀喜	二男	10.21
〃	野崎 恵	秋男	長女	10.21
福浦	福山 聖二	昭男	二男	10.27
内野	秋田美穂子	良一	四女	10.28
福浦	福田 恵子	政宏	長女	10.29
小津奈木	江口奈央美	賢一	二女	10.30
平国上	長濵圭一郎	満則	長男	10.31
新川	川崎 光	延	二男	11. 4
日当	林田祐二郎	昭二	二男	11. 5
浜崎	林 政和	一也	二男	11.13

昭和60年12月21日～昭和61年12月19日届出迄

青春町

吉武理恵さん
S38. 3. 19生まれ 23歳
血液型 A型

仕事の話しを
津南保育園で保母をしてます。忙しいけど楽しい――。子供達にとって、いちばん大切な時期だけに責任を感じますネ。

年女の今年の目標は
今年も色々な面で忙しくなりそうだけど、私は年長組の担任ですから、子供達が無事卒園してくれたら、何も言うことありません。

休日は何をしてますか
いろんなカタログ見るのが好きで、一人でブツブツ言いながら見てます。結局買わないんですけど。

理想の男性どんな人
思いやりがあって、相手の立場になって考えてくれる人

熊本県知事選挙 2月1日

任期満了に伴う熊本県知事選が行なわれる予定です。選挙期日は、昭和六十二年二月一日です。告示日は昭和六十二年一月十二日でこの日から選挙運動がはじまります。

登記相談所（無料）開設

不動産登記制度が施行されてから、昭和六十二年二月一日をもって百周年を迎え、その記念行事として、熊本地方法務局、熊本県司法書士会、熊本県土地家屋調査士会の共催により、不動産登記、商業・法人登記など登記に関する相談を受けるため、次のとおり登記相談所を開設しますので、ご利用下さい。

一、開設期日及び時間
昭和六二年二月三日（火）
午前一〇時より午後四時まで
二、開設場所
津奈木町役場会議室

【農業委員会委員選挙人名簿登載申請書】

農業委員会委員選挙人名簿登載申請書は、毎年一月一日現在の状況を一月十日までに、農業委員会へ提出するようになっています。耕作面積が十アール（一反）以上あって、農業に一年間おおむね六十日以上従事し、昭和六十二年一月一日現在で満二十才以上の人は、申請書に記入し、区長さんに提出して下さい。

国保税 明るいわが家の健康貯蓄

お知らせ

衛生係より

昭和六一年度
●一般健康診査
●胃集団検診
●子宮ガン検診

受診状況は次表のとおりでした。健康状態を確認するため年に一回の健診は必ず受診しましょう。又、健診結果、異常があった人は早めに治療して下さい。

（S61年度）

	一般健康診査			胃集団検診			子宮ガン検診		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(%)
竹中	121	62	51.2	122	46	37.7	81	15	18.5
染竹	159	79	49.7	157	71	45.2	111	30	27.0
浜崎	171	50	29.2	171	39	22.8	112	20	17.9
桜戸	150	61	40.7	152	54	35.5	104	24	23.1
町中	94	46	48.9	96	24	25.0	64	17	26.6
新川	123	63	51,2	120	50	41.7	91	17	18.7
古川	155	73	47.1	154	61	39.6	104	15	14.4
大泊	248	76	30.6	246	75	30.5	172	36	20.9
中尾	171	76	44.4	171	70	40.9	110	31	28.2
古中尾	133	57	42.9	135	29	21.5	85	16	18.8
倉谷	155	86	55.5	155	51	32.9	104	28	26.9
内野	105	41	39.0	105	48	45.7	64	17	26.6
上下門	127	57	44.9	124	53	42.7	79	19	24.1
川内	71	32	45.1	72	30	41.7	48	13	27.1
福浦	152	32	21.1	150	46	30.7	94	19	20.2
平国上	145	61	42.1	146	56	38.4	86	30	34.9
平国下	244	82	33.6	241	75	31.1	163	33	20.2
日当	286	114	39.9	287	111	38.7	192	41	21.4
日添	278	98	35.3	277	101	36.5	180	59	37.8
小津奈木	163	86	52.8	163	58	35.6	109	31	28.4
辻	16	4	25.0	16	4	25.0	11	4	36.4
計	3,267	1,336	40.9	3,260	1,152	35.3	2,164	515	23.8

三種・二種混合予防接種

昭和六十二年三種混合（百日咳ジフテリア・破傷風）の予防接種を次の日程で実施します。

一、実施日時及び場所
昭和六十二年一月十四日（水）
午後一時三十分から二時三十分まで
津奈木町改善センター
二、対象児
昭和五十八年一月一日から昭和五十九年十二月三十一日までの出生児
※必ず母子健康手帳及び印鑑をご持参下さい。

募集

保育園児

昭和六十二年度、保育園入園希望の方は次のとおり申し込んで下さい。

一、入園措置定員
津奈木保育園　九十名
津南保育園　九十名
二、保育園の入園基準
保育園は保育に欠ける児童を入園させる施設であるため、保護者が、その家庭において児童の保護・養育等が困難な家庭の児童を基準に照らして入園決定します。
三、入園資格
・一才以上で、津奈木町に住所を有する者
四、申込受付期間
昭和六十二年二月一日から三月十五日まで
五、手続方法
入園申請書等に諸事項を記入し、町民課福祉係へ提出して下さい。
六、その他
○申請用紙は町民課福祉係及び民生委員宅にあります。
○給与支払明細書（源泉徴収票）のある人は必ず添付して下さい。
○入園に関する聞き取り調査の日程については後日お知らせします。

津奈木幼稚園児

昭和六十二年度津奈木幼稚園園児の募集を次のとおり行います。

一、募集人員
○四才児（自五十七年四月二日至五十八年四月一日）までの出生児　四十名
○五才児（自五十六年四月二日至五十七年四月一日）までの出生児　五十五名
二、入園資格
津奈木町に住所を有する者
三、提出書類
入園申請書　一部（用紙は役場教育委員会にあります）
四、申込受付期間
昭和六十二年一月十三日～一月三十一日まで。
但し期間中でも定員に達した場合締切ることがあります。
五、申込先
津奈木町教育委員会
六、入園の許可
入園の許可は選考（健康診断を含む）を行い、昭和六十二年三月十五日までに通知します。
七、その他
現に四才児として入園している園児は、入園申しみみの必要はありません。
その他詳しいことは、教育委員会にお尋ね下さい。

水俣高校定時制

県立水俣高校定時制では、次のとおり生徒を募集します。

募集人員
商業科四十名／衛生看護科四十名
願書受付期間
二月十三日～二〇日まで。水俣高校事務室へ提出して下さい。
（願書は、同事務室・各中学校にあります。）
学力検査　三月十二日・十三日
合格発表　三月二〇日
定時制生徒には、いろいろ優遇措置があります。なお、不明な点は水俣高校定時制係までお問い合せ下さい。
（0966・63・1261）
※定員に満たない場合は、二次募集を実施します。（商業科のみ）

暖かい心 ほんとうに ありがとう

町民の皆さんのご理解とご協力によりまして、十月の赤い羽根共同募金、十二月の歳末たすけあい義えん金とも目標額に近い募金をいただき、厚くお礼申し上げます。

赤い羽根・共同募金

区分	金額(円)	区分	金額(円)
竹中	32,500	上下門	30,300
染竹	44,000	川内	19,650
浜崎	54,500	福浦	36,500
桜戸	46,600	平国上	33,500
町中	26,000	平国下	61,000
新川	36,600	日当	69,000
古川	43,000	日添	70,500
大泊	62,150	小津奈木	43,000
中尾	40,500	辻	5,532
古中尾	38,500	その他	9,000
倉谷	36,500		
内野	26,500	合計	865,332

歳末たすけあい義えん金

区分	金額(円)	区分	金額(円)
竹中	33,500	津奈木郵便局	10,000
染竹	43,000	(株)住物冷凍	5,000
浜崎	52,200	津小教職員	8,930
桜戸	42,035	平小〃	5,500
町中	24,500	赤小〃	3,800
新川	33,000	津南保育園	45,730
古川	40,000	役場職員	58,032
大泊	56,850	町議員一同	32,000
中尾	38,000	津奈木ヤクルト販売店一同	5,000
古中尾	31,000	津奈木漁協役職員一同	8,000
倉谷	36,500	津奈木農協職員一同	15,000
内野	26,000	その他	840
上下門	29,500		
川内	17,500	計	197,832
福浦	32,000		
平国上	34,500		
平国下	55,500		
日当	63,100		
日添	65,170		
小津奈木	41,500		
辻	6,000	合計	999,187
計	801,355		

津南保育園から歳末たすけあい義えん金が送られました。

ご寄附お礼

水俣・芦北都医師会婦人部
杏花会様
より町社会福祉協議会へ金一封をご寄附頂きました。
心よりお礼申し上げます。

ご芳志お礼

右のかたから町社会福祉協議会へ香典返しとして金一封をご寄付くださいました。この寄付金はご意志に添い有効に利用させていただきますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。（敬称略）

部落	世帯主	故人
中尾	農島 勝喜	キクモ

郷土の先達

町長　六車孝吉

昭和六十年一月一日から五月三十一日迄熊本日日新聞に「文と美と政治と」細川護貞氏聞き書き」が連載されたが、此の原稿をもとに、細川護貞氏との座談を加えて今回中央公論社から「細川護貞座談―文と美と政治と…」が出版された。その中に師事された狩野直喜先生の事が出てくる。此を引用させて頂く。細川氏が狩野先生に漢学を教わった時、最初「影宗本尚書正義」を勉強した。

ところが全く読めないのでどんな字引がいいせうかと尋ねたら、漢の時代の許慎という人の書いた「説文」がいいと言われる。そこで「説文」を買ったが之又全く読めない。狩野先生は何度も読めばおのずから分ると言われた。そこで日本の字引を引いて、ことはこんな解釈でいいせうかと聞くと、あなたは漢和大辞典を引いたでせう。あれはだめです。文字を知らん奴が書いていると言われた。そこで国訳漢文大成という本の中に宇野哲人先生の書かれた尚書を見て先生に答えたら、あなたは宇野の書いた国訳漢文大成を御覧になりましたね。ありゃだめです。あれは文字を知らん人が書いたものですと言われた由、狩野先生は京都大学の先生であり東大の服部宇之吉先生と共に、明治以后の中国学を確立された方で、明治十七年十月、佐々友房の創立した私立濟々黌を卒業。高から東大に進まれた。十七才位で既に漢学の素養を充んど身につけておられたと言う。宇野先生も著名な学者で、濟々黌を明治二十七年卒業、つまり狩野先生の十年後輩である。先年物故された吉川幸次郎氏は、近代の卓越せる中国学者として内外にその名を知られ、中国の学者から、中国人よりも中国的であり、中国文学の一際抽んでた権威である。中国本土古高にも吉川先生程の学者は見当らず、瞠目すべき多才多産は他に類を見ないと迄評価され、沛儒であると評された学者である。一般的に日本人の外国文学者が外国に行けば、その国の文学者に対しては一歩も二歩も隅りがあるのが普通である。吉川氏は中国の学者が脱帽する程の大学者であったことは衆知の事実である。

この吉川氏の先生が大熊狩野直喜先生である。吉川氏の著書「他山石語」或は「音容目に遺」その他に恩師狩野先生の事が述べられ、その文中に、「先生の夭逝は、私には甚だ急に思はれる。しかし先生の健康は、やはり徐にかたむきつつあったのである。私はここまで比較的平静な気持でこの文章を綴ることが出来た。しかし書いてここに至れば、何故か涕は襟を沾おす」と結んでいる。狩野先生はその学問上の業績の外に、誠によき弟子達を持たれたと思う。

年頭あいさつ

議長　福田正任

輝かしい新年を迎えるにあたり、町議会を代表して、町民の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

時代のスピードが速くなると将来を予測することが難しくなります。時代の流れを読み、時代の要求にあった政策を実施し、新しい時代に向けて快適な生活環境づくりを自ささなければなりません。

町議会は、町の基本構想であります「心の通う、住みたくなる町づくり」のため、議決機関の機能を最大限に発揮しつゝ、町民の皆様の御期待添うよう努めて参ります。

どうか本年も、より一層の御支援・御協力をお願い申し上げ、昭和六十二年が町民の皆様にとりましても幸せな年でありますよう、お祈り申し上げまして、新年の御挨拶と致します。

九月十三日から三ケ月間に亘り、沖縄の地で「B&Gセンター育成士養成訓練」を受けて参りました。

あこがれの沖縄と、訓練の内容とは打って変わり、朝六時半起床点呼、一五㎞のランニング、掃除、朝食、そして日課へとリズム正しく一日が過ぎるのでした。我家にいる時は、朝寝、夜ふかし、飲み過ぎ、運動不足と極一般的な生活をしていたので、訓練に慣れるまで相当、難儀しました。訓練の内容は、ヨットに乗ったり、カヌーを漕いだり、体育館スポーツや、四級小型及び救急員の免許取得等、様々な分野に亘ってあり、中でも水泳は、五〇mがやっとだったのが、ゲロを吐くまで泳がされたおかげで、今では三〇〇mは、楽に泳げるようになりました。

男ばかりの団体生活で、あくしゃも打ちましたが、友達は全国各地にでき、体はたくましく健康になり、スポーツに対して参加意欲は高まり、ましてや、何事に対しても、「やれば必ずできる」ということを体得しました。

わずか三ヶ月間でしたが、この訓練で得た貴重な体験をこれからの人生においに活かし、町の発展に少しでもお役に立てれば幸いと思います。

B&G沖縄研修に参加して

役場職員　北岡正文

B&G沖縄海洋センタープールにて：ちなみに私は向って左です。

話題集中・ブロンズのある橋

あけぼの橋

第一回手づくり郷土賞

「緑と彫刻のある町づくり」の目指すものは

県下に話題をまいた「あけぼの橋」が昨年の七月、第一回「手づくり郷土賞」を受賞しました。

日常生活の中で、美術館を訪ねることは、一般の家庭では、ほとんどありません。

たまたま家族の中の一人が、それに携わる趣味等を持っていれば話しは別ですが、美術品と日常生活の世界とは、ひとつの見えない壁が知らぬ間にできているのです。

かといって強制的に美術館に足を運ばせるのでは、誰も後を向いてしまいます。レプリカではなく本物の美術品を外へ開放し、直接目で見て感じることが出来、しいては本町の文化意識の高揚、子供たちの情操教育に効果があれば と考えています。

彫刻の製作も、現在日本の第一線で活躍中の彫刻家に依頼し、周りの景観にそうように十分検討しており、これによる「効果」も永い目で見て考えて行くことになります。

きびしい財政の折ですが、心への効果を狙い、〝新しい目〟だけは思折せずに育て、社会に羽ばたいて行くことを願い、今後もこの事業を進めて行きます。

大園伸三氏著「九州百名山」

家族で登った九州の山々

〝身近な山から九州最高峰の山まで、幼な子三人連れてのユニークな山路ガイド〟というので昨年話題を呼んだ本町浜崎地区　大園伸三氏著の「九州百名山」（一九八六年・上・下巻出版　各千円）。氏の学生時代からの山好きが高じて九州の百名山を登ることとなった訳ですが、大園さん一家のように、家族で山に登ることは、簡単なことではありません。互いに助けあいながら苦労して一歩一歩進まなければならないのです。一家の誰かがルートハント・安全な道を選びます。山ではそれが父親であったり、幼ない子供であったり……。しかし、その苦労よりも互いに得るものの方が大きいにちがいないのです。それは家族の絆であり、自然への感心でもあります。

著書の書き出しにこうあります。

『高山必ずしも名山にあらず。身近な山の魂として伝わって来ます。親から子供たちに伝え残したいことはまさにそのことです。…』

読者のみなさんも、家族で一度身近な山を征服してみては、いかがですか、きっと新しい発見があるはずです――。

大園さん一家：星生山の頂上にて「ハイ・チーズ」

成人を迎えるあなたへ

昭和六十二年の成人式を次のとおり開催します。

一、日　時　昭和六十二年一月三日（土曜）午前九時三十分受付、十時開式

二、会　場　津奈木町農業就業改善センター

三、対象者　昭和四十一年四月二日から四十二年四月一日までに生れた人

四、その他　記念写真代五百円を持参の上、普段着で参加して下さい。

なお、該当の人で成人式の案内状がもれている方がおられましたら、当会場にご遠慮なくおいでください。

詳しいことは、津奈木町教育委員会（電話七八・三一一一）まで、お問い合せ下さい。

明日をひらく スピリッツ

しゃれたペンション？

新幼稚園三月完成

津奈木にしゃれたペンションが……。と思ったら、実はこれが新津奈木幼稚園三月完成。

建設中の新幼稚園園舎

木幼稚園園舎。

大人でも夢を感じさせるようなヨーロッパ風のかわいい建物に、つい幼いころに帰り、遊んでみたくなりそうです。

環境も運動公園内のため周囲に男鳥公園・児童公園等の施設もあり、やんちゃな子供達もこれなら満足。走り回る姿がおもわず目に浮かびます。

木造平家四四六平方メートルのこの園舎は、今年三月には完成し四月から園児とともに新しいスタートをきり、末永く子供達を見守ることとなります。

園児の皆さん、たいじして下さいネ。

※幼稚園では園児を募集します。詳しくは裏面のお知らせをご覧下さい。

この賞は建設省が魅力ある地域づくりを促そうと、全国の橋や家並みを対象に選定を行ない、橋部門で全国三十ケ所の名橋のひとつに選ばれたものです。

受賞にともない、ひと目見ようと訪れる人も多くなり、橋の中央に設置されているブロンズ像「爽風」（岩野勇三氏作）の前で、記念写真を撮る姿をよく見かける様になりました。

又、記念テレホンカードも製作、全国のカードマニアから注文が殺到。津奈木のコマーシャルに一役かった次第。

新しい2つの橋

――三つのブロンズ橋――完成へ向けて

――いつか本町から日本を代表する芸術家がでてくることを期待してやみません――。

近に愛されてきた山には、その長い間に培われてきた伝統があり、目に見えない霊気が感じられるものです。登る者に山全体が語りかけてくる、それは言葉では表現

建設中の広域農道橋

本町では近年中に二つの橋が完成します。

ひとつは、六十二年度完成、総工費一億円で建設中の広域農道橋で上拓と泊を結ぶ二一八メートルの橋。もうひとつは、六十三年度完成予定、古川の海岸七九〇平方メートルを埋立てて、新川（あけぼの橋近く）へ結ぶ四五メートルの橋。

この二つの橋の完成にともない赤崎方面からの交通の便が、これまで大型車の離合ができなかった狭い新川の県道を通りしなくて良いため、たいへんスムーズになる見込みです。

又、この二つの橋にも「あけぼの橋」同様、ブロンズ像が設置されることとなり、今回も「爽風」の製作者でもある、彫刻家の岩野勇三先生に製作委託する予定で、六十三年度には三つのブロンズのある橋が完成します。

町では観光的要素も含め、あらゆる面でプラスになるのではと、期待している。

62年度埋立し、63年度には橋が出来る予定の古川海岸

国保が見守る健康一家

どっこいつなぎの海の味

全国区を目指して「みりん干し」

郵便局の産地直送システムを活用して全国販売のルートに乗った漁協の〝みりん干し〟。

火にあぶった時の香ばしい香りがなんとも言えず、ついつい食欲をそそられるのは、食べたことのある方には、わかるはず。

無添加ですから、文字通りの自然食品。郷土を離れ全国各地で御活躍中の皆様へ、「ふるさとの味」をお届けしてはいかがですか。

又、みりん干しと合わせて、魚肉一〇〇パーセントの味付き「エソのすり身」も新しく登場。お吸物に、てんぷらにとても合うと喜ばれています。

※詳しいことは津奈木漁協までお尋ね下さい。（0966・78・2015）

不知火海で捕れたての味

1000年のニュース

- ○あけぼの橋手づくり郷土賞受賞。
- ○津奈木町消防団機動化完了。
- ○全小中学校に体育館完備。
- ○漁村センター完成。
- ○漁協みりん干し「ふるさと小包便」にて全国販売。
- ○三号線登坂車線一部開通。
- ○大園伸三氏「九州百名山」を出版。
- ○県甘夏研究会、本町で開催。
- ○光明寺で梵鐘復元。
- ○第一回水俣芦北幼年消防大会本町で開催。

十二月の発注工事

◎石木田線道路改良工事
事業費　一六、五〇〇千円
工　期　昭和六一年二月一日～昭和六二年三月一五日

◎竹中線道路改良工事
事業費　一〇、一五〇千円
工　期　昭和六一年二月三日～昭和六二年三月一五日

◎福浦川河川災害復旧工事
事業費　一八〇千円
工　期　昭和六一年二月八日～昭和六二年三月一〇日

◎福浦川河川災害復旧工事
事業費　一四五〇千円
工　期　昭和六一年二月八日～昭和六二年三月一〇日

◎福浦川河川災害復旧工事
事業費　二九〇千円
工　期　昭和六一年二月八日～昭和六二年三月一〇日

◎福浦川河川災害復旧工事
事業費　二〇五〇千円
工　期　昭和六一年二月八日～昭和六二年三月一〇日

◎町原川河川災害復旧工事
事業費　一一五〇千円
工　期　昭和六一年二月八日～昭和六二年三月一〇日

◎塩迫川河川災害復旧工事
事業費　六四〇千円
工　期　昭和六一年二月八日～昭和六二年三月一〇日

◎町原川河川災害復旧工事
事業費　四四三〇千円
工　期　昭和六一年二月八日～昭和六二年三月一〇日

◎倉谷川河川災害復旧工事
事業費　一三五〇千円
工　期　昭和六一年二月八日～昭和六二年三月一〇日

◎倉谷川河川災害復旧工事
事業費　一一六〇千円
工　期　昭和六一年二月八日～昭和六二年三月一〇日

◎津奈木村線道路災害復旧工事
事業費　五〇〇千円
工　期　昭和六一年二月八日～昭和六二年三月一〇日

◎石木田線道路改良工事
事業費　一六、五〇〇千円
工　期　昭和六一年二月一六日～昭和六二年三月一五日

◎竹中線道路改良工事
事業費　一〇、一五〇千円
工　期　昭和六一年二月三日～昭和六二年三月一五日

◎福浦川河川災害復旧工事
事業費　一八〇千円
工　期　昭和六一年二月八日～昭和六二年三月一〇日

◎福浦川河川災害復旧工事
事業費　一四五〇千円
工　期　昭和六一年二月八日～昭和六二年三月一〇日

◎福浦川河川災害復旧工事
事業費　二九〇千円
工　期　昭和六一年二月八日～昭和六二年三月一〇日

◎福浦川河川災害復旧工事
事業費　二九九〇千円
工　期　昭和六一年二月八日～昭和六二年三月一〇日

◎町原川河川災害復旧工事
事業費　二〇五〇千円
工　期　昭和六一年二月八日～昭和六二年三月一〇日

◎町原川河川災害復旧工事
事業費　一一五〇千円
工　期　昭和六一年二月八日～昭和六二年三月一〇日

◎倉谷川河川災害復旧工事
事業費　一一六〇千円
工　期　昭和六一年二月八日～昭和六二年三月一〇日

◎津奈木太郎線道路災害復旧工事
事業費　一九六〇千円
工　期　昭和六一年二月八日～昭和六二年三月一〇日

◎赤崎公営住宅（A棟）新築工事
事業費　一三、〇〇〇千円
工　期　昭和六一年二月九日～昭和六二年三月二五日

◎赤崎公営住宅（B棟）新築工事
事業費　一二、七八〇千円
工　期　昭和六一年二月九日～昭和六二年三月二五日

◎赤崎公営住宅（C棟）新築工事
事業費　一二、六〇〇千円
工　期　昭和六一年二月九日～昭和六二年三月二五日

◎赤崎公営住宅（D棟）新築工事
事業費　一三、〇〇〇千円
工　期　昭和六一年二月九日～昭和六二年三月二五日

◎赤崎教員住宅新築工事
事業費　六、八〇〇千円
工　期　昭和六一年二月九日～昭和六二年三月二五日

一月の行事

三　日　成人式（改善センター）
五　日　役場御用始め
七　日　親子たこあげ大会
　　午前一〇時より（千拓）
一一日　三太郎駅伝大会
　　田浦・午前一〇時出発